

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第2区分  
【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公開番号】特開2003-158338(P2003-158338A)  
【公開日】平成15年5月30日(2003.5.30)  
【出願番号】特願2002-317010(P2002-317010)  
【国際特許分類第7版】  
H01S 5/14  
【FI】  
H01S 5/14

【手続補正書】  
【提出日】平成17年10月12日(2005.10.12)  
【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項1】発光方法であって、  
制御信号を設けるステップと、  
光の発生中に2つの偏光状態で作用することができるレーザを用いて光を発生するステップと、  
前記制御信号に対応する前記偏光状態の間で前記レーザの作用を調整するステップと、  
前記偏光状態の間で前記レーザの作用を調整する前記ステップに対応して、前記光の波長を調整するステップと、  
を含む発光方法。

【請求項2】前記光を発生するステップが、複数のミラーで定義されるキャビティ内に設けられた前記レーザを用いて光を発生することを含み、前記光の波長を調整するステップが、前記レーザの作用を調整する前記ステップに対応して、前記キャビティ内で光路の少なくとも一部分の反射率を調整することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】前記波長を調整するステップが、複屈折材料を用いて調整することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】発光方法であって、  
半導体レーザを設けるステップと、  
2つの偏光状態において前記半導体レーザの作用を制御するステップと、  
前記半導体レーザを用いて、前記2つの偏光状態のうちの1つにそれぞれ対応する2つの波長を備える光を発生するステップと、  
を含む発光方法。

【請求項5】前記制御するステップが、前記半導体レーザを制御して第1の偏光状態で作用することを含み、前記光を発生するステップが、前記第1の偏光状態における前記半導体レーザの前記作用中に第1の波長を備えた光を発生することを含み、前記制御するステップが、前記半導体レーザを制御して第2の偏光状態で作用することをさらに含み、前記光を発生するステップが、前記第2の偏光状態における前記半導体レーザの前記作用中に前記第1の波長とは異なる第2の波長を備えた光を発生することをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】前記設けるステップが、前記半導体レーザに関する光路を形成するキャビティを設けることを含み、さらに前記2つの波長を備える光を発生するために前記半導体レーザの前記2つの偏光状態に対応して前記光路の少なくとも一部分の屈折率を調節するこ

とを含む、請求項 4 に記載の方法。